



レジリエンスについて



都市の基本的な機能を維持する能力は、突発的なショックと慢性的なストレスに脅かされます。



突発的なショックと慢性的はストレスは、
社会関係の破たん、建物やインフラの崩壊、
経済機能の低下につながりかねません。



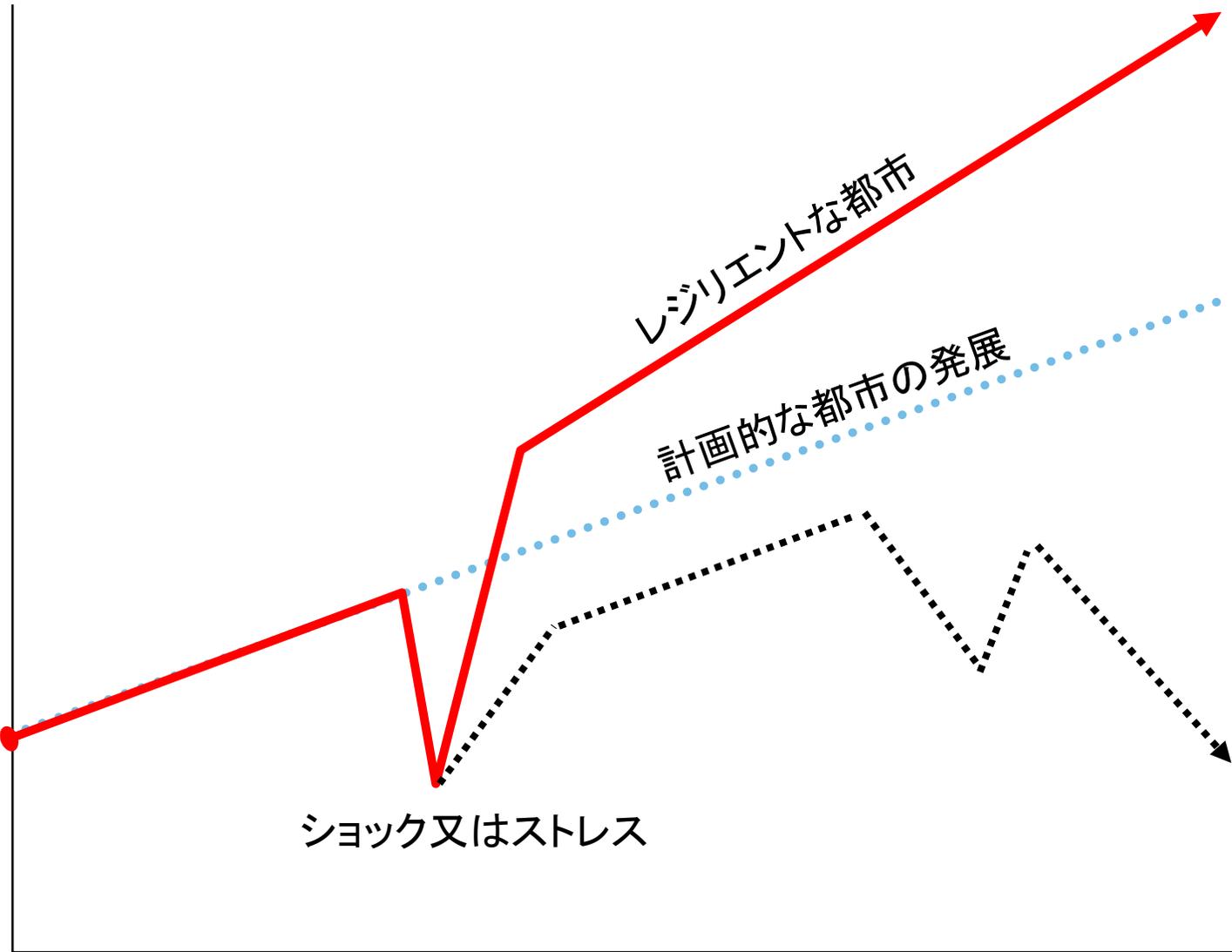
突発的なショックとは？

地震
火事
洪水
土砂崩れ
有害物質の拡散事故
台風/暴風雨
テロ攻撃
伝染病の集団感染
暴動
インフラや建物の倒壊
熱波/猛暑
など

慢性的なストレスとは？

人口減少
少子高齢化
地域のつながりの欠如
失業と非正規雇用
ホームレス/不法住居
気候変動
交通渋滞
貧困/経済格差
インフラの老朽化
経済動向の変化
犯罪と暴力
など

ショックとストレスは都市のさらなる**発展の機会**であり、ある状況下においては**転換のきっかけ**ともなり得ます。



レジリエンス = 「しなやかな回復力」

都市におけるレジリエンスとは、個人、コミュニティ(地域社会)、組織、企業や都市のシステムが、いかなる突発的なショックや慢性的なストレスに対しても、その影響を最小限にとどめ、適応し、発展する能力のことです。



「100のレジリエント・
シティ」(100RC)に
ついて

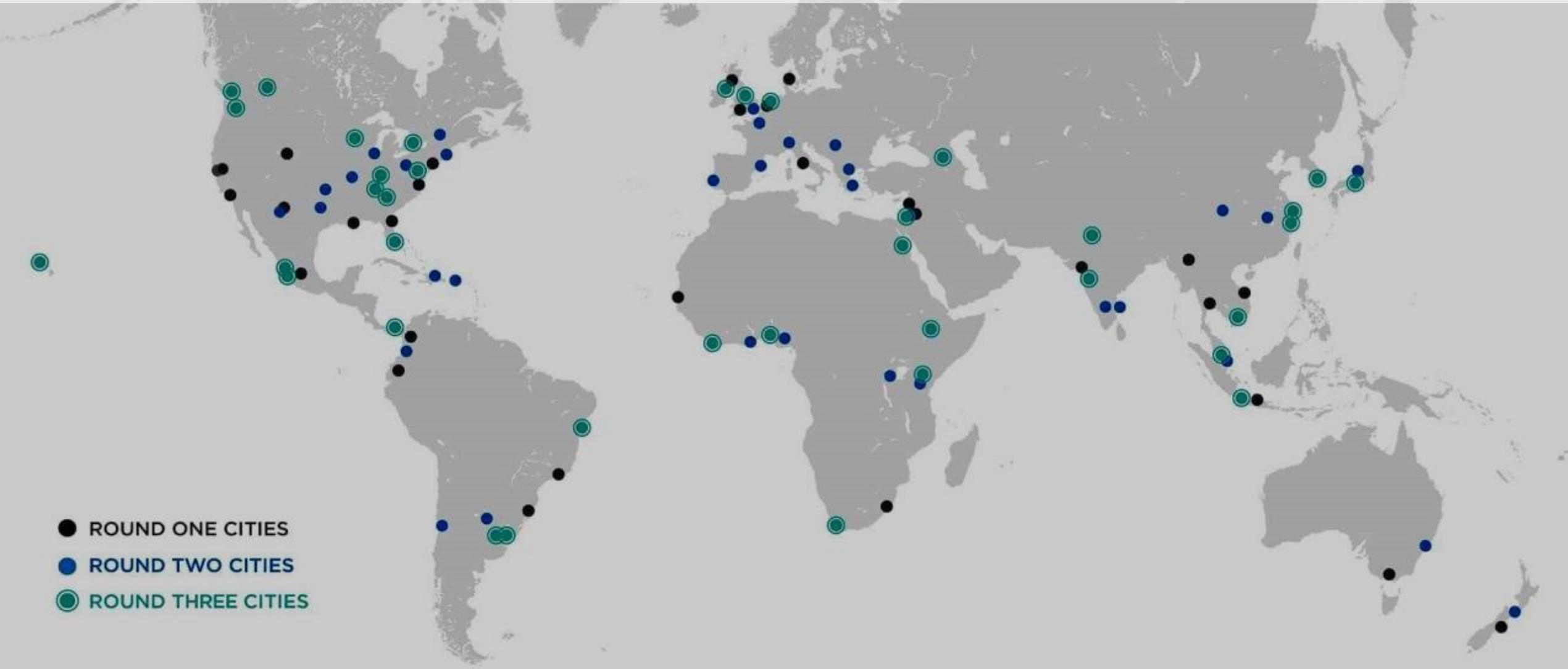


100RCは世界の都市のパートナーとなり、21世紀において益々大きくなる、社会的、経済的、物理的な課題に対して、都市がよりレジリエントとなるために支援します。



100RC加盟都市

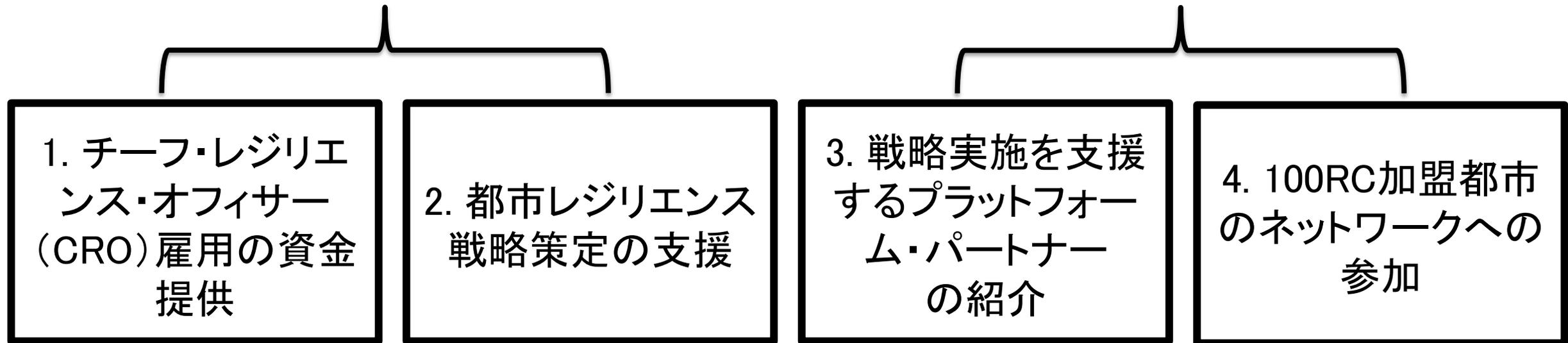
厳正なる選抜プロセスを経て、1,000以上の申請の中から、2013年12月に第1グループ(30都市)、2014年12月に第2グループ(33都市)、そして2016年5月に第3グループ(京都市を含む37都市)の都市が選定されました。



課題解決のため、 100RCは4つの支援を提供します。

複雑化した都市の仕組みに対し、レジリエンスの観点から横断的に考えることのできる体制を構築

解決策を効率的に大規模展開する。



チーフ・レジリエンス・オフィサー(CRO)とは？

CROは、以下の役割を通じ、21世紀のレジリエントな都市の実現に向け都市に変革をもたらします。



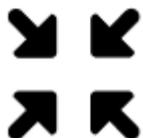
レジリエンス戦略の策定と実行を指揮・監督する。



レジリエンスに係る上級アドバイザーとして市長を支える。



地域において、また世界に対して、レジリエンスという考え方を発信し推進する。



また、都市レジリエンスに関係する市役所内外の関係者及び関係都市との連携を図るとともに、



他の加盟都市CRO, 100RCスタッフ, 各種パートナーとの連絡・調整を行う。

京都市レジリエンス推進本部

市長(本部長)

CRO
(副本部長)

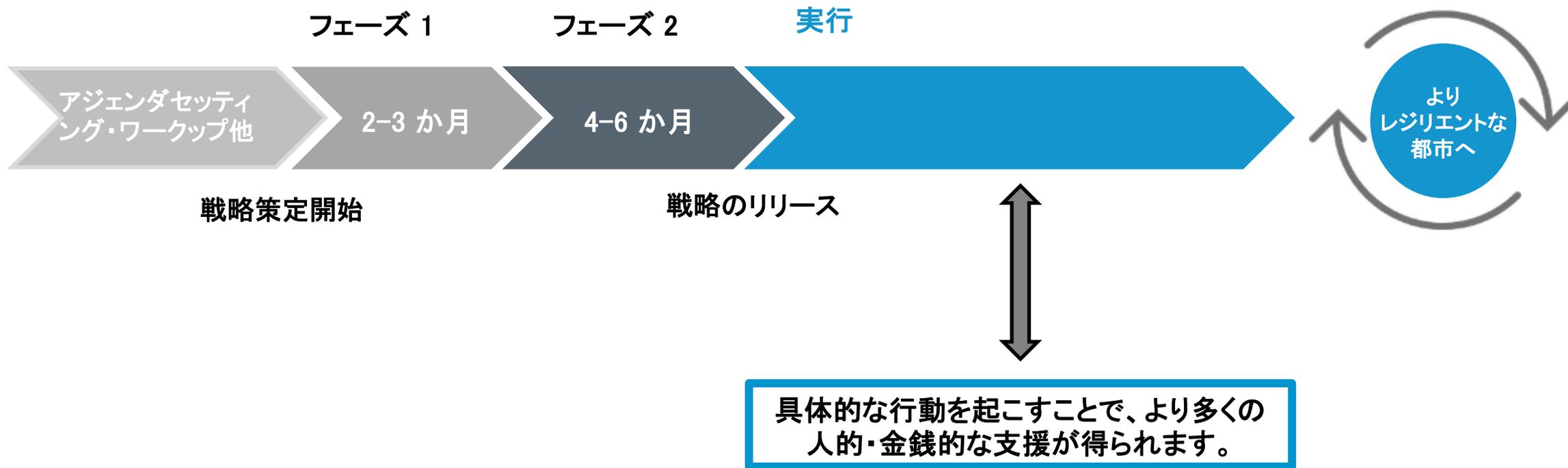
3 副市長
(副本部長)

事務局
(行財政局防災危機
管理室内)

各局区等の長等
(本部員)

都市のレジリエンス戦略とは？

レジリエンス戦略は、短期～長期的な都市のレジリエンスに関する優先順位や具体的な取組をまとめたレジリエンス強化のためのロードマップです。



プラットフォームパートナーとは？

Water Management, Energy



Built Environment, Infrastructure, Land Use



Education/ Skills and Training, Economic Development, Culture and Arts



Climate and Weather, Natural Environment



Transportation



Housing



Citizen Engagement, Government & Policy, Social Equity



Information and Technology, Cyber Security



Public Health



Finance and Insurance



DRM and Emergency Response



100を超えるパートナーが、140以上ものサービスを提供します。これは約200億円にも相当するものです。

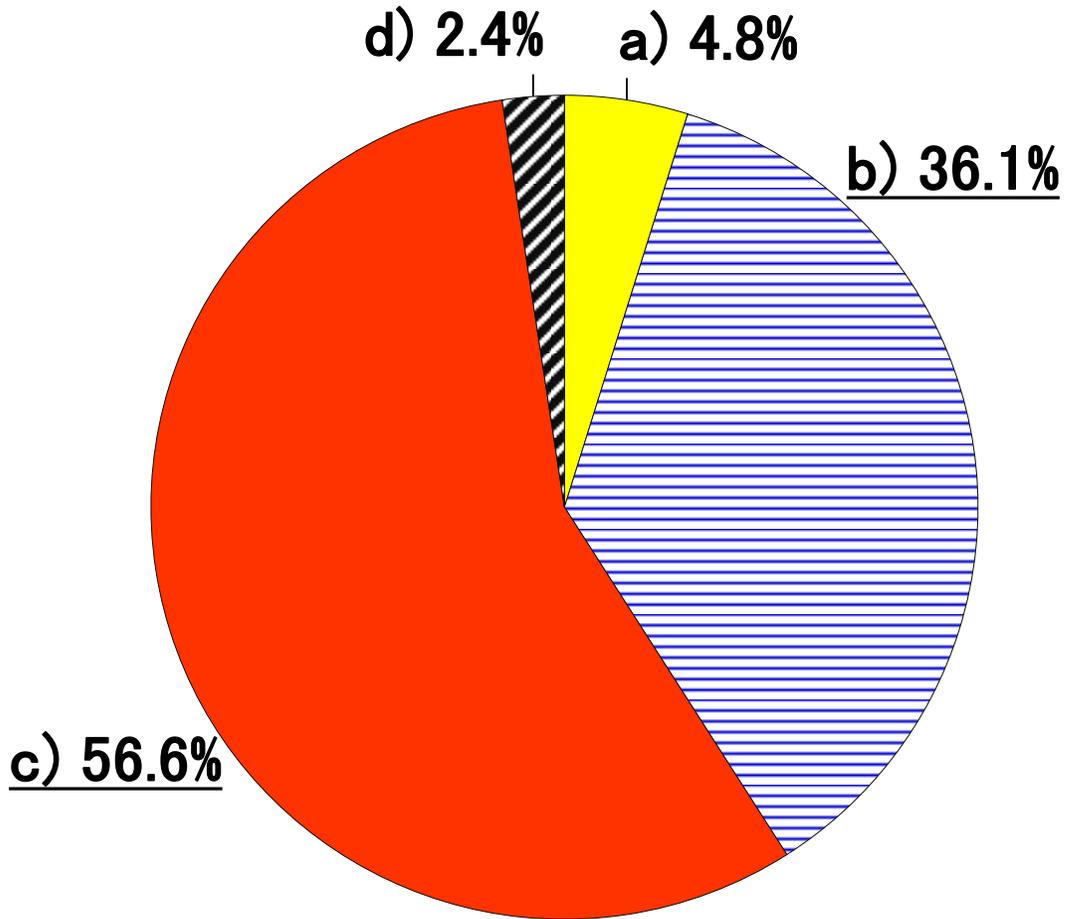
これらのサービスは、民間、公共、学界、非営利団体等、様々な分野から選定されたプラットフォームパートナーにより提供されます。

(参考)

京都市の現状 について

※アジェンダセッティング・ワークショップ
(平成29年2月8日開催)への参加者
に対する事前アンケートの結果等に
基づく

「レジリエンス」の認知度について



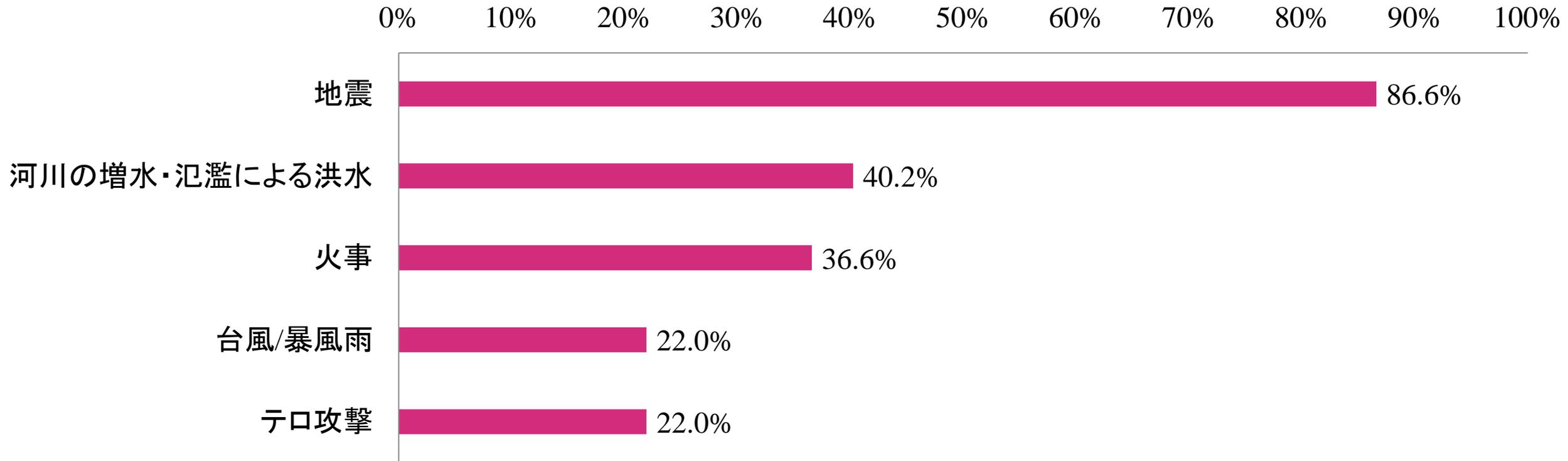
■ a) よく知っている。(4.8%)

▨ b) ことばは聞いたことがあるが、意味は良くわからない。
(36.1%)

■ c) 聞いたことがない。(56.6%)

▨ d) その他 (2.4%)

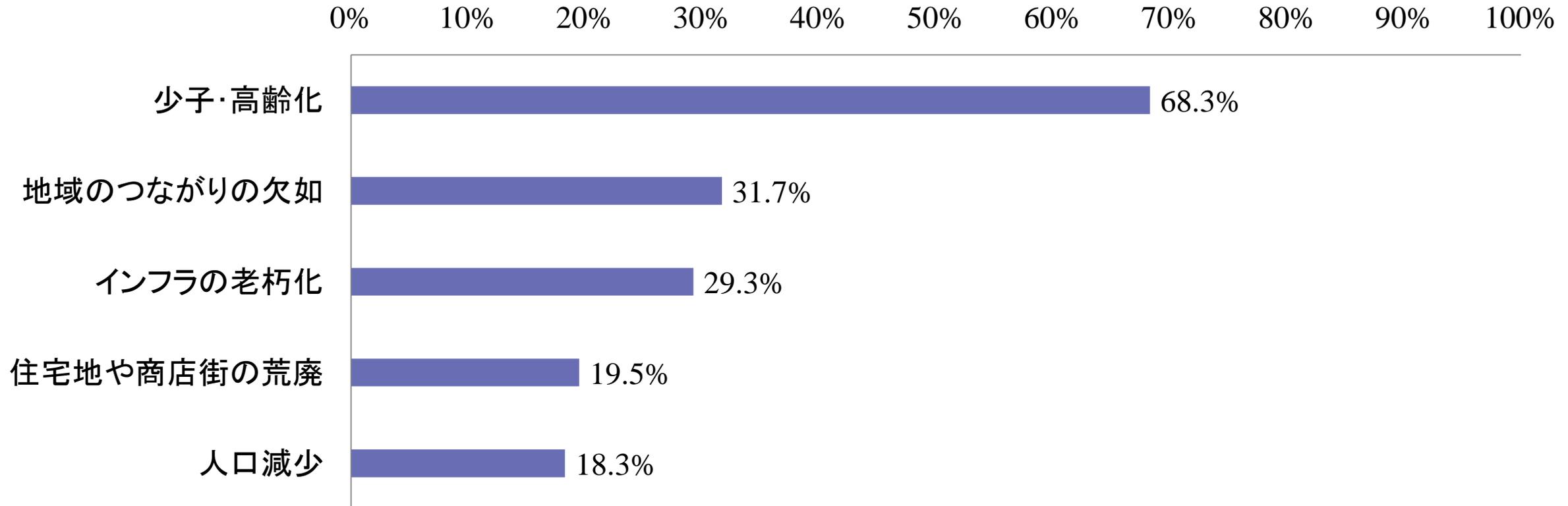
京都市が直面(危惧)する「ショック」について(上位5つ)



その他回答が多かったショック: 土砂災害, 都市洪水, インフラや建物の倒壊 など

京都市の応募時の回答: ①地震, ②降雨洪水, ③土砂崩れ, ④サイバー攻撃

京都市が直面(危惧)する「ストレス」について(上位5つ)



その他回答の多かったストレス: 交通渋滞, 貧困/経済格差 など

京都市の応募時の回答: ①人口減少, ②人口高齢化, ③インフラ老朽化

